



左から、大澤春次さん（67歳・南台2丁目）・小野沢敏子さん（65歳・砂新田）・河野制子さん（66歳・砂新田）  
 斉藤弘子さん（69歳・砂新田）・杉山安代さん（72歳・藤間）・後藤英子さん（79歳・下新河岸）

表通り裏通り

# ボランティア演奏 5年間に120回

感謝する気持ちが大事…… 高階なかよしハーモニカ



この日は、30人ほどの利用者の皆さんの前で演奏。歌いやすいように、歌詞をはり出します



歌詞についての説明でも、会話が弾みます。演奏する側にも、笑みがこぼれていました



「茶摘み」では、利用者の皆さんと手拍子。自然と笑顔になり、会場の雰囲気盛り上がっていきます

「昨年十二月に、五周年を迎えました。みんなの協力があってこそ続けることができたと、胸が熱くなりました。今度は、十周年を目標にしています」と小野沢さん。これからも、「高階なかよしハーモニカ」のボランティアは続いていきます。

現在、代表を務める小野沢さんが、ハーモニカを習う仲間を誘って結成した「高階なかよしハーモニカ」。五年前からボランティアとして、市内のデイサービスセンターなどで演奏を始めたところ、評判が広がり、演奏会は百二十回を超えました。五月二十三日は、真寿会デイサービスセンター小仙波（小仙波）を訪問しました。

「ふるさと」を思い、「汽車」に乗った。そうしたら……。曲を物語調に並べた演奏に、だんだん同センター利用者の皆さんの歌声が大きくなっていきます。この日は、童謡などを二十曲演奏。その中には、「おぼろ月夜」などの季節に合わせた曲が盛り込んであります。「演奏中に聴いている方の様子を見て、楽しめるようにくふうします。笑顔で演奏し、会話も楽しむようにしています」と、大澤さん。現

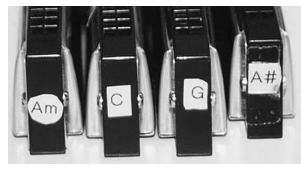
在百六十曲以上を演奏し、さらにリクエストに答えるため新しい曲に挑戦しています。「高階なかよしハーモニカ」の皆さんは、退職後に何かしようとしてハーモニカを始めました。「一本あれば何曲でも楽しめる」と聞き、始めました。今では、十本以上になりました。「と後藤さん。ハーモニカの魅力を斉藤さんに伺うと、「まず音色。そして手軽で、どこにでも持ち歩いて楽しめます。実は、夫がデイサービ

スを利用してあります。施設への感謝の気持ちを込めて、演奏しています。施設訪問には、健康である今の自分ができることをしようという思いが、込められています。「喜んでいただける。演奏させていただけると、聴いていただけると、これらに感謝する気持ちがないと続きません」と皆さん。そして、「これからも頑張ってください」「次はいつ？ 待てるよ」など、利用者の皆さんからのことばに元気をもらっています。

「昨年十二月に、五周年を迎えました。みんなの協力があってこそ続けることができたと、胸が熱くなりました。今度は、十周年を目標にしています」と小野沢さん。これからも、「高階なかよしハーモニカ」のボランティアは続いていきます。



5月23日の午前中に、和気あいあいと練習。月・火曜日に活動しています

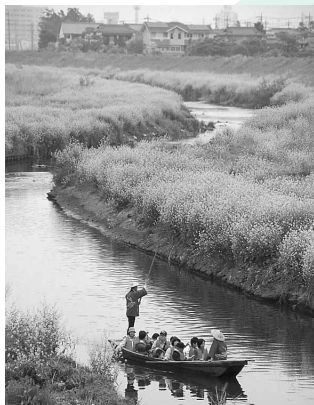


皆さんが使用しているハーモニカの一部です

まちのできごと  
川越市の面積は109.16km<sup>2</sup>

# 109パレット

## 楽しかったね！ 小江戸川越春まつり



小江戸川越春まつりは、5月まで催し物が盛りだくさん。

4月29日は、日枝神社（下新河岸）をメイン会場に行われた「新河岸川への集い」。10周年を迎えたことしは初めての試みとして、第5回東日本学校吹奏楽大会銀賞を受賞した高階中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が行われました。また、恒例となった舟の運航が、人気を集めていました。

同日、開催された「川越れんげまつり2006」。会場の農業ふれあいセンターで太鼓演奏やショーなどを見たり、近くの畑に行つてレンゲを摘んだり、子どもたちがいっぱい。大人も幼いころを思い出し、花飾りを作る姿も……。17,000人が訪れました。

5月4日～6日は「小江戸縁日大会」。会場の1つとなった連馨寺（連雀町）では、武者姿にびっくり！ 川越藩火縄銃鉄砲隊による「鎧体験コーナー」で、1日に60人以上が変身しました。「川越まつりの囃子を聴きに来て、ここを見つけ、よろいを着てみました」と練馬区からの親子。ステージなどで催しが繰り広げられる中、来場した皆さんはのんびりと初夏の1日を満喫していました。

「新河岸川への集い」（上）、川越れんげまつり2006」（右上）、「小江戸縁日大会」（右）



## 50回を記念する開会式は、500人の選手全員が一堂に



皆さん全員が集まりました。「ママさんバレーボールに、定年はありません。役員も、みんな現役で試合に出ています。これからも、長く続けられるバレーボールを目指していきます」と、大会委員長の渡辺喜美子さん（山田）。

5月14日・28日に開催された、第50回川越市ママさんバレーボール春季大会。開会式には、参加する47チームの選手



スパイクをブロック！ 各コートで熱戦が繰り広げられました



4月24日の授賞式で受け取った盾を手に

を信頼することができ、誰からも信頼されるような大人になりたい」と語ってました。

何でも楽しく取り組むことができる渋谷さんは、泳ぐのも大好き。得意なのはバタフライだそうです。「水泳を続けているため健康で、幼稚園から皆勤賞です」と、母の美和さん。将来、イロカの調教師になるのが、渋谷さんの夢です。そして、「作った標語のように、いろいろな事

を信頼することができ、誰からも信頼されるような大人になりたい」と語ってました。

「大切だよ、信らいすること、されること」平成十八年度「児童福祉週間」標語募集事業で、全国の子どもから大人まで、五千件を超える作品の応募の中から最優秀作品（厚生労働大臣賞）に選ばれた標語を作った渋谷さん。電車に乗っているときに、標語を考えついたそうです。

渋谷さきりさん（10歳・並木）

川越びと  
25